

第2回鹿野地域振興未来会議 議事概要

日 時：令和7年5月29日（木） 午後1時30分～午後3時40分
場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

【出席委員】

岡本洋一、森村繁一、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、上山秀雄、佐々木千代子、
筒井洋平、山根裕太、山名 修、田中奏子、津田夏海

以上12名（敬称略）

【欠席委員】 なし

【事務局】

<鹿野町総合支所>

小林支所長、西垣副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、
國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

【説明者】 <都市企画課>三谷主査、竹内技師

【傍聴者】 なし

【日 程】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 景観計画の改定について (資料ダウンロード)
 - (2) 旧鹿野小学校跡地利活用検討委員会について (資料ダウンロード)
 - (3) その他
- 4 報告事項
 - (1) 行事経過報告及び今後の予定について (資料ダウンロード)
- 5 その他
- 6 閉 会

◎議事概要

3 議題（1）景観計画の改定について

事務局より資料に基づき説明。

・鳥取市景観計画改定に向けた取組みの資料を基に説明

【委員】鹿野城下町が重点区域のエリアに入っているが、鹿野城跡は含まれているのか。

【説明者】旧小学校辺りの城跡は重点区域に入っていません。城下町の街なみがメインです。

【委員】鹿野城跡の一带を再度、重点区域の候補とすることは可能か。

【説明者】現在指定の鹿野城下町重点区域に隣接する鹿野城跡については、開発によって景観が阻害される見込みがあれば、既存区域に追加するなどとして検討したい。

【委員】街なみ協定と重点区域は関連があるのか。

【事務局】街なみ協定の区域を踏襲する形で重点区域を設定しています。街なみ協定は、各町の協定に同意している方々が協定事項に沿って住宅等の修景整備をされています。重点区域では、先程の街なみ協定に関する修景整備の一部や、それ以外の開発等に対する行為に制限をかけることで、景観の誘導を行うものです。

【委員】鳥の劇場は重点区域に入っていないのか。

【事務局】鳥の劇場、光輪寺までは重点区域に入っています。

【委員】鷺峰山の山なみは対象になるのか。

【説明者】気高町の未来会議では、大堤池から見える鷺峰山の景観が美しいとして、重点区域の追加が提案されました。今回の景観計画の改定では、眺望景観を保全する取り組みを計画に取り入れていきたいと考えています。鷺峰山も重点区域の追加ではなく、眺望景観の保全という位置づけで検討していきたいと考えています。

【委員】ヤサホーパーク、勝谷街道、道の駅など、鷺峰山がきれいに見える所はいくつかある。勝谷街道は電線があり、きれいな景観を壊しているので電柱の地中化できればいいと思う。道の駅のレストランからもきれいに見えるが、照明の柱が立っていて見えにくい。景観計画の改定に眺望景観の保全が取り入れられたら照明の移設も可能になるのか。

【説明者】重点区域や眺望景観の保全については、主要な地点からの眺望となります。集客のある道の駅を主要な地点ととらえ、眺望景観の保全として設定できると思います。

【委員】ぜひ設定してほしい。

【委員】鷺峰山が見える勝谷街道の直線道路に道路標識や案内看板などを設置してほしくない。

【説明者】道路標識などは交通誘導の観点から設置しないということは難しいです。分かりやすい統一したデザインで表示されています。

【委員】新たな重点区域の提案として、越水から山紫苑前までの今市の旧本通りには昔ながらの建物があり、あれだけ長いものはなかなか無いと思う。その旧本通りが指定されると鹿野街道からのつながりができる。

【説明者】提案のあった「越水から山紫苑前までの今市の旧本通り」については、今後、現地確認を行うなどとして重点区域の追加を検討します。

【委員】重点区域の設定にあたっては、開発予定や建設予定がある場合に限り指定できるということか。

【説明者】開発によってこれまでの街なみ景観が壊されていく恐れがある場合など、地域に合った景観を守っていくことを目的としています。

【委員】鹿野城跡周辺には開発予定はないが、新しい開発計画があってから区域を設定しても遅い。保存して守りたい地域を前もって設定しておけば、開発計画が出てきても心配がない。そういった視点を改定に取り入れてほしい。

【委員】整理すると、新たな区域として鷺峰山の眺望保全、今市の旧本通り、鹿野城跡周辺エリアの拡大ということによろしいか。

【委員】城跡周辺は鳥取市の文化財に指定されているので、開発の対象にならないのではないか。重点区域と重ねたほうがいいのか。

【事務局】文化財に指定されていると開発はかなり難しいです。

【事務局】城跡公園のエリア拡大については、こういった形が良いのか検討させてください。

【委員】小鷺河地区は民家がなくなっていくばかりで、区域に指定しても管理ができないと思う。周りもきれいにしないといけなくなる。建設や開発の予定がないので空き家が壊れ空き地も草だらけ、そんな場所を指定してもらっても不安なだけだ。

【説明者】改定は今年度中に行いますが、開発予定のない旧本通りは今回の改定に反映することは難しいので、候補地という位置付けで今後の検討に入れておきます。

【委員】鹿野祭りに似合う街なみは景観自体に一定の強みがある。移住定住や観光に力を入れるのであれば、景観を維持していく取り組みについては、行政の手助けがある中で行う必要がある。また、重点区域における後世に残していく取り組みや維持管理の方向性を担当課はどう考えているのか。

【説明者】市としては、街なみ協定に基づく住宅改修等をする場合に補助制度を設け支援を行っています。しかし、1軒につき1回のみ活用の活用となることから、今後、この制度について検討していく必要があると考えています。

【委員】 個々の家に対しての支援のみか。

【説明者】 来年度以降に城下町のカラー舗装を補修していく予定です。

【委員】 鹿野町の城下町の景観には、文化的背景から「鹿野祭りの似合うまち」が必ずついてくる。その維持管理の仕組みとして、住民主体ではなく部分的に行政の補助があり、住民へのヒアリングや住民と行政が議論できる場があればいいと思う。文化的背景を踏まえて都市計画に横串が刺さるような仕組みを鳥取市全体で取り組んでいく動きを望む。

【委員】 重点区域に指定されている地域は、県内外問わず積極的にPRして集客につなげてほしい。

【委員】 今回、重点区域にふさわしいと判断されても行政と未来会議だけで一方的に決めるのではなく、地域の方の意見も聞いてほしい。

3 議題（2）旧鹿野小学校跡地利活用検討委員会について

事務局より資料1に基づき説明。

・今年度の整備事業と今後についてまとめた資料を基に説明

【委員】 これまでの検討委員会の協議はスムーズに運んだのか。

【事務局】 令和2年頃、鳥の劇場からの相談が検討委員会の発足のきっかけとなりました。私自身はスムーズに協議が進んだと感じており、意義のある会だったと思います。今後もこういった協議の場を設けて進めていきたいと考えています。

【委員】 これまで様々な意見が出てきたが、お互いの思いをすり合わせながら納得して鳥の劇場の完成に向かっていていると感じている。

【委員】 今後も同じような進め方でいくのか。それとも違った位置付けにするのか。また、円滑な維持管理をしていくためだと思うが、協議会での協議内容は支所と管理業者との基礎的な話が中心となるのか。

【事務局】 協議会の位置付けは変わり、メインは維持管理の話し合いの場となります。これまでは各団体がそれぞれ管理していましたが、維持管理やスケジュール調整、桜の管理計画などについての協議を年1回開催するような会にしたいです。

【委員】 まち普請の会と鹿野町自治会と鹿野地区公民館の事務局は地区公民館なので出席者が重なる。一番動きやすい団体だけにしたらダメなのか。

【事務局】 それで大丈夫です。

【委員】 新たな協議会には勝谷、小鷲河地区の団体が抜けてしまったが、それはどうするのか。

【事務局】 将来的には鹿野町全体で城跡公園周辺を守っていく方向性でいきたいと思っています。

【委員】関わる人が少なくなっているのですが、賛同するなら鹿野地区以外の人にも協力してもらえばいい。

【委員】城山の参道は支所で予算を確保して整備しているのか。

【事務局】参道の草刈りや剪定などは、六角堂ぐらいまでは市が委託した造園業者が行っています。また、他にも鹿野地区公民館や城山まもりたいが年に何回か清掃作業をされています。

【委員】鳥居から城山神社までは城下町の7つの町内会が分担して清掃している。

【委員】清掃ボランティアの参加者が高齢化し、継続が困難になっていることが課題。

【委員】立入禁止となっている城山の展望台は修理しないのか。住民からの要望があれば予算が付くのか。

【事務局】予算要求するうえで、この未来会議で協議し要望していくことも有効だと思います。城跡公園は平成7年度に完成しましたが、平成29年度までは当時の都市環境課が所管していたため、予算確保しづらい状況にありました。平成30年度から鹿野支所の産業建設課が所管になり、予算を確保してきたところです。本来、城跡公園は鳥取市の施設ですから市が管理するのが当然ですが、地域住民の方も清掃していただいていることに感謝しています。近年、城跡公園の観光客が増えるなか鳥の劇場が新しくなり、今後も更に観光客が増えることが見込まれます。安全面、予算面を考慮して条例を定めることが必要となっています。指定管理施設に位置付ける方法もありますが、管理者が権限を持つことによるデメリットもあり、地域住民との調整が必要になります。このことから来年度以降も引き続き支所で管理していきたいと考えています。

【委員】ソメイヨシノの寿命はおよそ80年。弘前市は桜の管理にかなりの予算を使っている。桜のメンテナンスしてくれる樹木医を雇い、城山まもりたいなどに技術を教授してもらうのはどうか。古い桜を切って別の種類を植えたり、根の部分の踏まないよう柵を設けたりすることが必要と思う。

【委員】今のような話を検討委員会でも議論してほしい。勝谷、小鷲河地区の方も参加してもらったほうがいい。

【委員】堀に入るまでの水路清掃などを水谷集落で行っている。皆さんに知っておいてほしい。ただし、管理している人が高齢化しており、地域住民で管理できなくなった場合はどこが管理するのか。

【事務局】水谷集落の皆さんは、水谷川から城下町に流れる水路の管理をしていただいております。大変助かっています。いただいた意見を整理し、関係者で協議できる場を設けさせていただきたいと思っております。

【事務局】流沙川学舎から城跡公園までの川柳街道において、川柳の句木がかなり傷んでいます。地域振興会議でもご意見いただきましたが、今後は、句木でなく掲示板のようなものを城跡公園に掲示し、毎年を受賞句を紹介してい

きたいと考えています。

3 議題（3）その他

【委員】高齢化問題や若手人材の確保について、毎回短時間でも未来会議で話し合いができればと思っている。若手が活躍しているような成功例はないだろうか。若手の委員の方に一言でいいので話をしてほしい。

【委員】世代が違うから考えていることが全く違うとは思わない。意見を吸い上げる仕組みが必要。子どもも一緒に参加するような雰囲気づくりやバリアフリー化の配慮があればいいと思う。机椅子でなく座談会のような会議を開催してみてもどうか。

【委員】鹿野町民音楽祭実行委員会の運営メンバーも高齢化していたが、一昨年、20代と30代に声を掛けメンバーに引き入れたところ、大活躍してくれている。もっと早く引き入れれば良かった。彼らは幼稚園・小学校からずっと役者として関わっていたから、運営に関わるのが楽しいのだと思う。今後も声を掛け続けていきたい。そんな風に人を育てることが他にもできないだろうか。

【委員】会議という名目だと構えてしまう。世代や地区に関係なく集まりやすい場所をつくってはどうか。

【事務局】鳥取市では、地域の未来づくり懇談会を毎年開催していますが、今年は鹿野地区が開催地となります。まちづくりをテーマの一つとして、地区住民に限らず鹿野で活動している若者に声をかけ、思いやどんな取り組みをしたいのか聞いてみようと考えています。8月盆明けくらいに開催する予定で、地域づくりの方向性を考えるきっかけになればと思います。市の担当部長が来るので、市にサポートしてほしいことを相談できる機会にもなります。

【委員】若手人材の確保については、いろんな会議で出た意見の共有を地道にしていくなか、目に見えて変わることはないが少しの時間でも続けていくことが重要。この未来会議で未来について考えることにこだわり進めていけば、大変有意義な会議となる。

4 報告事項（1）行事経過報告及び今後の予定について

事務局より資料に基づき説明。

委員からの質問・意見等、特になし

5 その他

【委員】先日、新聞に県内の地形情報を基に新たな土砂災害警戒区域が拡大するという記事が載っていた。鳥取市でも1,500カ所であった区域が2,500カ所ぐらいに増えるということだ。ホームページに載っているということだが、鹿野町内でどういったところが追加になったのか教えてほしい。また、災害避難場所、簡易ベッドや食料品などの防災備蓄品の備蓄状況も知りたい。

【事務局】確認し、次回の会議で報告させていただきます。